

**製品名: CD130 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00957**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 104 kDa; Observed MW: 130-140kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL6ST
別名	Interleukin-6 receptor subunit beta ,IL-6 receptor subunit beta,IL-6R subunit beta,IL-6R-beta,IL-6RB,CDw130
遺伝子 ID	3572.0
SwissProt ID	P40189
免疫原	抗血清はヒト CD130/gp130 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 748-797

**背景**

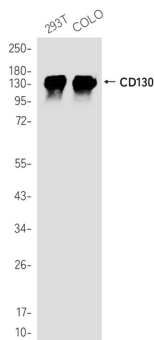
IL6、LIF、OSM、CNTF、IL11、CTF1、BSF3 の受容体システムは、シグナル伝達を開始するために IL6ST を利用することができます

す。IL6 が IL6R に結合すると、IL6ST のホモ二量体化と高親和性受容体複合体の形成が誘導され、細胞内 JAK-MAPK および JAK-STAT3 シグナル伝達経路が活性化されます。

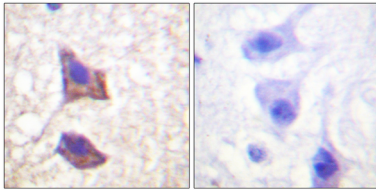
## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



CD130 抗体を使用した 293T、COLO 溶解物中の CD130 のウエスタン プロット分析。



CD130 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。右側はブロッキング ペプチドを含むサンプルです。